

私のおすすめ

夏にお勧めの節電対策

親子で“緑のカーテン”を作ろう!

東日本大震災の影響により、今年の夏は電力不足が懸念されています。電力消費のピークタイムの多くはエアコン利用によるもの。快適に過ごせるように工夫して、節電につなげたいですね。

そこで今回は、親子で“緑のカーテン”を作ってみませんか。「神奈川県環境科学センター」発行の『壁面緑化チャレンジ!ガイド』を参考に紹介しましょう。

❖ 建物を緑化すると室温が低下

『壁面緑化チャレンジ!ガイド』によると、“緑のカーテン”とは、つる植物をネットに絡ませて壁を覆い、建物を緑化する方法。建物に降りそそぐ直射日光を遮り、植物の葉が水分を蒸発させて周囲の温度を下げるため、緑化した建物の室温は、非緑化のものより平均1.7℃、最高3.8℃低下したという測定結果が出ています。夏の暑い時期だけ緑化でき、材料はホームセンターなどで手に入るの、だれでも手軽に作るすることができます。



環境科学センターが県庁新庁舎を緑化したときのアサガオ (2007年)

❖ ネット全体に葉が広がるように

“緑のカーテン”に適したつる植物はゴーヤ、アサガオ、ヘチマ、ヒョウタンなど。「神奈川県立フラワーセンター大船植物園」の方に育て方を伺ったところ、6月以降は種をまくより、苗を植えたほうが定植するそうです。

用意するのはプランター、培養土、園芸用ネット、支柱、ロープ。ネットはピンと張って支柱に取り付け、風で吹き飛ばされないようにロープでしっかりと周囲に固定します。10cm×10cmのマス目のものがつるを誘引しやすく、カーテンをきれいに作れるでしょう。

植え付けの間隔はゴーヤなら30cm、アサガオなら20cmが目安。本葉が5~7枚になったら、親づるの先端を摘み取り、わき芽を伸ばします。子づるが伸びてきたらネットに絡ませ、横に広がるように誘導しましょう。肥料が

今月は ⇨ **NPO法人**

ままとんきっず がお伝えします!

1993年、子育て中のお母さんが集まり、子育てタウン情報誌「ままとんきっず」を発行。子育てに関するメール相談、親子が集うサロン運営、各種講座の開催など、子育て支援活動を展開。情報誌・単行本の発行物は40冊を超え、一部は海外でも翻訳出版。最新刊『子育てしながら輝いて生きる—0~6歳育児を楽しむママたちの声—』も大好評。2010年の内閣府「チャイルド・ユースサポート章」を受賞。

〈連絡先〉川崎市多摩区菅稲田堤3-5-43

TEL/FAX:044-945-8662

URL : <http://www.mamaton.jp.org/>

切れてしまうとカーテンが広がらないので、とくにゴーヤなど実がなる植物は追肥が必要です。



- ◆ゴーヤとアサガオを混植した緑のカーテン。写真左から初日、32日目、57日目。家庭のバルコニーでも十分作れる
- ◆ゴーヤは葉が大きく、きれいなカーテンに。アサガオは、セイヨウアサガオやノアサガオなどの品種がカーテンを作りやすい

❖ 親子で節電、栽培の喜びと楽しみも

“緑のカーテン”を作ると節電できるほか、親子で植物を育てる喜びも得られます。また、植物によってさまざまな楽しみ方ができるのも魅力。例えば、ゴーヤは夏バテ防止に効くビタミン豊富な実を食べられます。アサガオは夏らしい色鮮やかな花を鑑賞できる上、押し花にしたり色水を作って絵を描いたり、子どもたちは大はしゃぎです。ヘチマはスポンジ作り、ヒョウタンは水筒やマラカス作りなどに挑戦でき、夏休みの自由研究の課題にもよいでしょう。夏を涼しく、満喫できそうですね。

インフォメーション

■神奈川県環境科学センター

平塚市四之宮1-3-39 電話 0463-24-3311

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/center/contents.html>

※『壁面緑化チャレンジ!ガイド』は、ホームページで閲覧可。

■神奈川県立フラワーセンター大船植物園

鎌倉市岡本1018 電話 0467-46-2188

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f598/>